

单 读

MOOK

狭い世界で、広く生きよう。

『単読』は、単向空間のブランド出版物であり、新世代の作家と読者を結びつけています。小説、詩、文化評論、エッセイ、ノンフィクションのレポート、アート作品を中心に、静かで深く、エレガントな読書体験を提供し、明晰で独自性があり、生き生きとした声に敬意を払います。

- 『単向街 001・最も愚かな世代？』
- 『単向街 002・先駆者は死んだ？』
- 『単向街 003・複雑性』
- 『単向街 004・異郷生きる座標を探す』
- 『単向街 005・反知性の時代』
- 『単読 06・逃避・帰還』
- 『単読 07・傍観者の痛み』
- 『単読 08・漫遊者』
- 『単読 09・忍耐力』
- 『単読 10・不安の時代』
- 『単読 11・繋がり / 断裂』
- 『単読 12・創造力の死』
- 『単読 13・消えた作家』
- 『単読 14・世界の水夫：オーストラリア文学特集』
- 『単読 15・私たちの黄金時代』
- 『単読 16・新北京人』
- 『単読 17・人間の苦境』
- 『単読 18・都市には何も無い：現代イギリス文学特集』
- 『単読 19・未来へ行く』
- 『単読 20・新新新青年』
- 『単読・十周年特集』
- 『『単読 21・時間の移民』
- 『単読 22・世界の門外にて』
- 『単読 23・崩れた家：フランス文学特集』
- 『単読 24・孤島から出る：水夫計画特集』
- 『単読 25・記憶を奪い合う』
- 『単読 26・グローバル実話集』
- 『単読 27・死地からの生還：2021年オリジナル小説選』
- 『単読 28・輝く瞬間：女性監督特集』
- 『単読 29・現代戯曲選——今日はすべて停止』
- 『単読 30・公園と野外へ』
- 『単読 PLUS・コメディの秘密：スタンダップから始まる』
- 『単読 32・救命ボートを探す：アイルランド文学特集』
- 『単読 33・もっと問題について話そう』
- 『単読 PLUS・漫象集：小さな場所』
- 『単読 35・世界に戻る時』
- 『単読 36・自分の部屋から出る』
- 『単読 37・離散と存在』
- 『単読 38・三回目の旅立ち』

単読 MOOK

以下の書籍にご興味がある場合は、下記の連絡先までご連絡ください：

メール：anonymous@owspace.com

WeChat 公式アカウント：単読 (dandureading)

新浪微博：@ 単読

Instagram：one_way_street_journal

会社 URL：https://www.owspace.com/

会社住所：北京市朝陽区東坝鎮半截塔路 53 号郎園 Station D3-1 座 単向空間

One-way Street
Journal

協力機関

オーストラリア駐中国大使館、英国文化センター、フランス駐中国大使館、
アイルランド駐中国大使館、スイス文化基金會、
山一國際女性映畫祭、声器劇読フェス、Papayep、
上海文艺出版社、鑄刻文化、单向街基金會など。



三回目の旅立ち



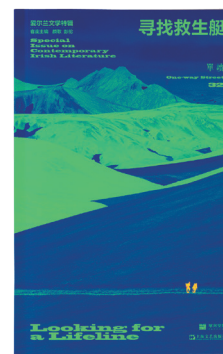
#38

離散と存在



#37

救命ボートを探す



#32 アイルランド文学特集

今日はすべて停止



#29 現代戯曲選

小さな場所



#34 単読 PLUS-漫象集

もっと問題について話そう



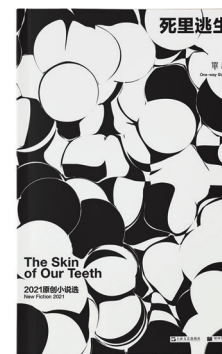
#33

輝く瞬間



#28 女性監督特集

死地からの生還



#27 2021年オリジナル小説選

特別推論

グローバル実話集



#26

記憶を奪い合う



#25

都市には何もない



#18 現代イギリス文学特集

孤島から出る



#24 水夫計画特集

崩れた家



#23 フランス文学特集

特別推論

『単読 24・孤島から出る』『単読 35・世界に戻る時』に続き、今号の「三回目の旅立ち」は、第二回および第三回「水夫計画」の一部作品を集めるとともに、旅を続けている「ベテラン水夫」柏琳、劉子超に新たな文章を依頼しました。「水夫」たちはアメリカのラストベルトを訪れ、テキサス州をロードトリップし、バルカン半島の田舎で居住して執筆し、ジェノサイドから 30 年後のスレブレニツァを訪れ、東南アジアの華僑の移動生活史を追跡しています……彼らは好奇心と共感を舵にして、世界のある場所の風景、過去の出来事、行動、対話を私たちに紹介してくれます。

今号には、汪天艾が翻訳・紹介したスペインの詩人・評論家ハイメ・ヒル・デ・ビエドマのエッセイと、詩人の何小竹の詩作も収録されています。また、別冊の『1868年の岩層を横断するイメージング』も付録されています。1868年にドイツの地質学者フェルディナント・フォン・リヒトホーフェンは中国を訪れ、4年間の長期旅行を行い、その際に『リヒトホーフェンの中国旅行日記』を書きました。それをもとに、150年後、写真家で旅行コラムニストの朱英豪が同じ道を再び辿り、写真と日記で中国農村の風土変遷を記録しました。この別冊にはその旅の一部の成果が収められています。



単読 38・三回目の旅立ち



編集長	吴琦
出版社	单読
出版年	2024年6月
ページ数	437ページ
定価	75.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532190331

今号の『単読』は、国内のノンフィクション創作に焦点を当て、「記実」コラムに、「在场・ノンフィクション執筆奨学金」受賞作品のうち3つを掲載しています。それぞれ、AIチャットボットと恋愛する少女たちの物語、ラサでのチベタン・マスティフの繁殖に関するフィールドワーク、牧畜業の「定住化」の下で直面する牧区の獣医師たちの数々の課題に関する内容です。これらの作品は、「他者」との対話を通じて、現代性の中に生きる人々の姿を見つめ直しています。

また、今号には廖偉棠、王璞、春樹、徐振宇の詩が収録されています。彼らは世界各地に散らばり、ここ数年の避けられない別れや逃れられない危機について書きつづり、新たな生活を模索し、築こうとしています。さらに、石迪夫の映像作品や、唐克揚と欧寧のエッセイも収録されており、前者は都市から新疆の荒野へと視点を移し、後者は都市の意味やその想像について新たな視点から書き直しています。



単読 37・離散と存在



編集長	吴琦
出版社	单读
出版年	2024年3月
ページ数	347ページ
定価	65.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532189762

MOOK
34

『単読 PLUS』と『Papayep』が共同で独立漫画アンソロジーを発表しました。このアンソロジーには、中国、フランス、スペインから集まった16人の漫画家の作品が収録されています。彼らはそれぞれ、自分の心の中にある「小さな場所」に戻り、時代の潮流に押し流されながらも、守りたいと願う人や物事について描いています。



単読 PLUS・漫象集：小さな場所

単読初めの漫画！！



編集長	吳琦
特別編集長	楊成樺 / 張上 (正義)
出版社	単読
出版年	2023年5月
ページ数	298ページ
定価	98.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532183371

MOOK 33

第33号の『単読』は、九つの長編インタビューで構成され、時代を超えた問題に焦点を当てています。この号では、許知遠、郭玉潔、柏琳、楊瀟、曉宇、叶三などの著者が、さまざまな分野の学者や活動家に質問を投げかけています。インタビューの対象者には、鍾叔河、戴錦華、景凱旋、羅新、項飆、マイケル・サンデル (Michael Sandel)、呂植、勞東燕、崔慶龍、張喬木などが含まれています。

これらのインタビューでは、現代社会が直面するさまざまな危機に関する問題が取り上げられています。インターネットにおける心理的な極端化、普通の人々の精神的な迷い、歴史の誤用、エリート教育における不公正さ、そしてエコロジーの悪化にも及びます。また、個人レベルからどのように始めることができるかについても議論しています。この「下沈の時代」において、編集部は「問題を提起することが、基本的な尊厳を維持する一つの方法である」と信じています。

今号では初めて漫画コラムが設けられ、紙面が若い漫画家たちに委ねられました。彼らは、新しい世代の「半自由」な生活体験を表現しています。



単読 33・もっと問題について話そう

年間大ヒット!
販売部数6万冊突破!

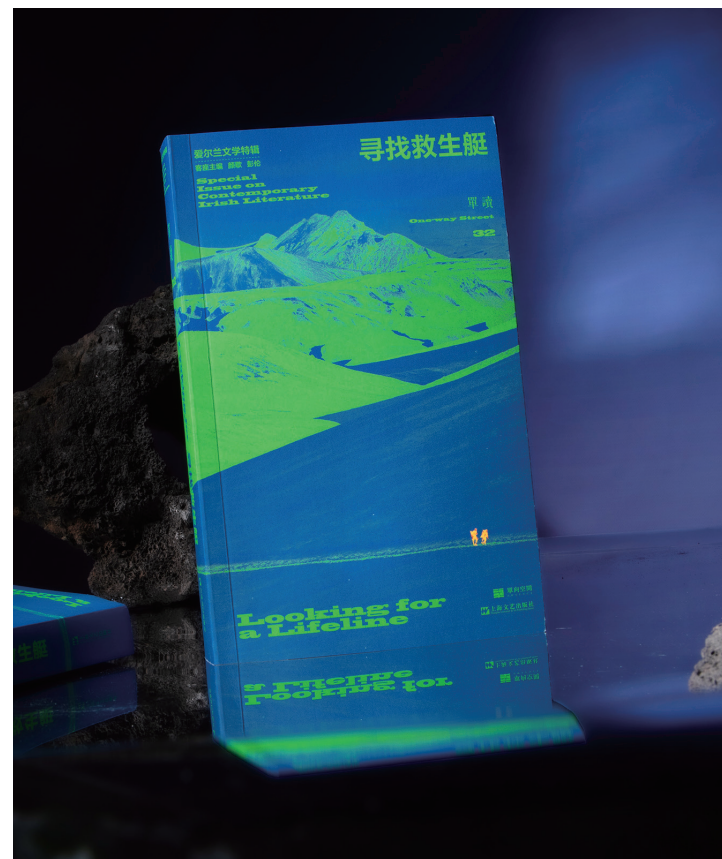


編集長	吳琦
出版社	単読
出版年	2023年3月
ページ数	432ページ
定価	65.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532186754

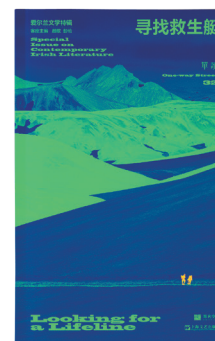
第32号『単読』では、世界文学の旅が再開され、オーストラリア、イギリス、フランスに続いて、文学の伝統が豊かでなお活力に満ちたアイルランドに焦点を当てます。旅行制限が完全に解除される前に、文学を通じて、苦難に満ちていながらも独自の方法で外の世界に心を開くアイルランドを訪ねます。本号では、アイルランドに住んだ経験があり現在はイギリスに住む作家の顔歌と、群島書籍の出版人彭倫が客座編集者として務め現地の読者に高く評価されながらも中国語圏ではあまり紹介されていない、独自のスタイルを持つ十二人の現代アイルランド作家とその作品を翻訳して紹介します：

ケイシー・スウィーニー、ルーシー・コールドウェル、ウェンディ・アースキン、ニコール・フラトリー、エイオン・マクナミー、コリン・バレット、リサ・マッキナニー、ケビン・バリー、ルイーズ・ケネディ、ダニエル・マクラフリン、ジャン・カーソン、メラトゥ・ウチェ・オコリー。

彼らの作品は、大時代の影の下で漂う個々の運命に焦点を当て、文学の視点で歴史に入り込み、「北アイルランド問題」や移民問題、晩期資本主義を物語の背景として描写し、底辺の労働者や歴史の流れの中で痛みを経験する小さな人々の尊厳と救済への渴望を描いています。同時に、現代人の心の葛藤、虚無的な人生の中で自分の存在意義を見出せない失望、他者と触れ合いたいがその隔たりを感じる無力感なども深く描写しています。我々は皆、運命が似ており、救命ボートを探しているのです。



単読 32・救命ボートを探す：アイルランド文学特集



編集長	吳琦
客員編集長	顔歌、彭倫
出版社	単読
出版年	2022年12月
ページ数	299ページ
定価	56.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532184682

今号の『単読』は、劇作家であり演出家である陳思安を特約編集者に迎え、初めて海外の現代若手劇作家による4つの戯曲を完全翻訳・出版します。スイスの劇作家マティウ・ベルトレの『ラグジュアリー、静寂』、イギリスの劇作家エマ・クラウの『縫製グループ』、イギリスの劇作家アリスティア・マクドウェルの『X』、そしてアメリカの劇作家サム・マックスの『鶏の籠』です。

新世紀以降、新世代の若手劇作家たちは新たな問題意識を抱え、劇文学の構造形式、言語スタイル、キャラクターの特性を革新し、独特で常識にとらわれない一連の戯曲を創作してきました。『単読』はその中から4作品を厳選し、最先端の劇場実践を紹介し、演劇の想像力を革新します。

これら四つの作品は、批判的な視点から現実の生活を直視し、今日私たちが直面する共通の困難に答えています。「死」と「自殺」の議論、高速で発展するテクノロジー社会と普通の人々の基本的なエモーショナルニーズとの衝突と相互の変化、人類が宇宙を征服しようとする欲望と故郷の滅亡への反省、そして個人の成長やジェンダー認識の過程における外部からのマインドコントロールと個体内の葛藤などです。

今号の『単読』には、劇場に焦点を当てたファン・シージュの写真作品、トム・ストップードに関する陳以侃の評論、劇場の魅力を再解釈するためのテキスト、さらに金特の小説、ウ・アンのエッセイ、ビー・シャオの評論が収録されており、今日人類が共通して直面する生存危機についての議論が引き続き展開されています。



単読 29: 現代戯曲選——今日はすべて停止



編集長	吳琦
出版社	単読
出版年	2022年1月
ページ数	596ページ
定価	75.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532182664

今号の『単読』では引き続き現代の若手クリエイターに注目し、山一国際女性映画祭と協力して、5人の現代女性監督による映画脚本と創作エッセイを發表します。これは、『単読』が初めて映画脚本の形式を用いて、変化しつつある現代生活を描き出す試みです。

王麗娜の『最初の別れ』は、故郷タクラマカン砂漠で次々と別れを経験する少年時代を描いています。楊明明の『柔情史』は、北京の胡同に住む苦しみ満ちた母娘関係を映し出します。滕丛丛の『私を雲の上に連れて行って』は、癌を患った女性記者が生存と理想の狭間で苦悩する姿を描きます。韓帥の『一九九九』は、13歳の少女が初めて性と死に直面する過程を回想します。黄綺琳の『金都』は、偽装結婚に巻き込まれた女性が、自らの選択を迫られる姿を描いています。

今号の『単読』には、アーティストである陳哲による映像作品、陸茵茵の作家イヴォンヌ・アディアンボ・オウルの小説、さらに黙音のエッセイと張敞の評論が収録されています。これらの作品は、異なる文体や視点から女性の世界に迫り、その中にある多くの暗闇の中の光を探り出します。

世の中は厳しいものですが、これらのクリエイターたちの優しさと決意は、今こそ一層価値があるものと感じられます。楊明明監督が書いたように、「私たちが育てるべきなのは、苦痛に敏感の知覚能力であり、心の闇に覆われた生活を送ることではありません。」



単読 28・輝く瞬間：女性監督特集



編集長	吳琦
出版社	単読
出版年	2021年11月
ページ数	500ページ
定価	65.00円
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532181575

今号の『単読』は、再び国内の創作に立ち返り、4年ぶりにオリジナル小説選集を発表します。郭玉潔、鄭在歆、蒯楽昊、索耳、双雪涛、孫一聖、顔歌など7人の若手小説家による新作が収録されており、さらに胡波の詩、李静のエッセイ、賈行家、許志强、徐兆正による文学評論も含まれています。また、『単読』は初めてとして別冊形式で「中英小説対読」をリリースし、顔歌の小説の中国語版と英語版の両方を収録し、言語と文化の境界を超える試みを行います。

これらの作品の多くは、2019年末から2021年にかけて執筆されたもので、まさに世界が危機に瀕し、私たちが「九死に一生」を得た時期にあたります。理性がまだ追いついていない時に、私たちの身体、感情、欲望はすでに反応を示していました。文学の背後には、現在の心の状態があり、新しい文学の声を通じて、新しい現実の困難に 대응しようとしています。



単読 27・死地からの生還：2021 オリジナル小説選



編集長	吴琦
出版社	単読
出版年	2021年8月
ページ数	374ページ
定価	58.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532180486

MOOK 26

今号の『単読』は、最初のグローバルジャーナリズム賞「リアルストーリー賞」から選ばれた5つの作品に起源を持ち、最終的に9つのノンフィクション作品と1つのドキュメンタリー映像作品を主体とした初のノンフィクション作品集としてまとめられました。「ポスト真実」の時代において、真実を問い続けます。

これらの物語は、ホンジュラス、ポーランド、コンゴ、セネガル、南アフリカ、キューバ、イギリス、日本など、計12の国と地域から集められ、移民、高齢者介護、人種、ジェンダーなど、現代的でグローバルな問題に関わっています。プロの作家が現地での調査を深く掘り下げ、複雑な事件の背景を明らかにし、現実世界の光と影を描き出し、グローバル社会における矛盾と不正を鋭く突いています——リアルな物語の中で、世界は平等ではありません。



単読 26・グローバル実話集

ベストセラーで高評価！



編集長	吳琦
出版社	単読
出版年	2021年4月
ページ数	376ページ
定価	54.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532179251

2020年の記憶争奪戦、その現実を記録した一冊の本。

次々と累積し、爆発する一連の社会・環境危機によって、2020年の特異性が繰り返し際立たせられました。年初から年末にかけて、『単読』は国内外の作家やパートナー、読者に広く寄稿を呼びかけ、世界各地からこの年に関する記録を集めました。最終的に、18か国から34人のクリエイターによる24組のドキュメンタリー作品がここに集約されました。『単読25記憶を奪い合う』は、これまでの文体別の分類方法を打破し、「世界—自身—身近」の3つのキーワードを軸に構成されており、詩がもう一つのストーリーの軸となっています。カバーにはコラージュと重ね合わせを用いて、混乱した記憶を表現するという新しい試みがなされており、メインの書籍と別冊のセットでの出版という新たな方向性を提示しています。

言葉を濁したり、無視することが横行する現代において、継続的な記録と反省こそが私たちの応答です。



単読 25・記憶を奪い合う



編集長	吴琦
出版社	单読
出版年	2020年12月
ページ数	368ページ
定価	59.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532178346

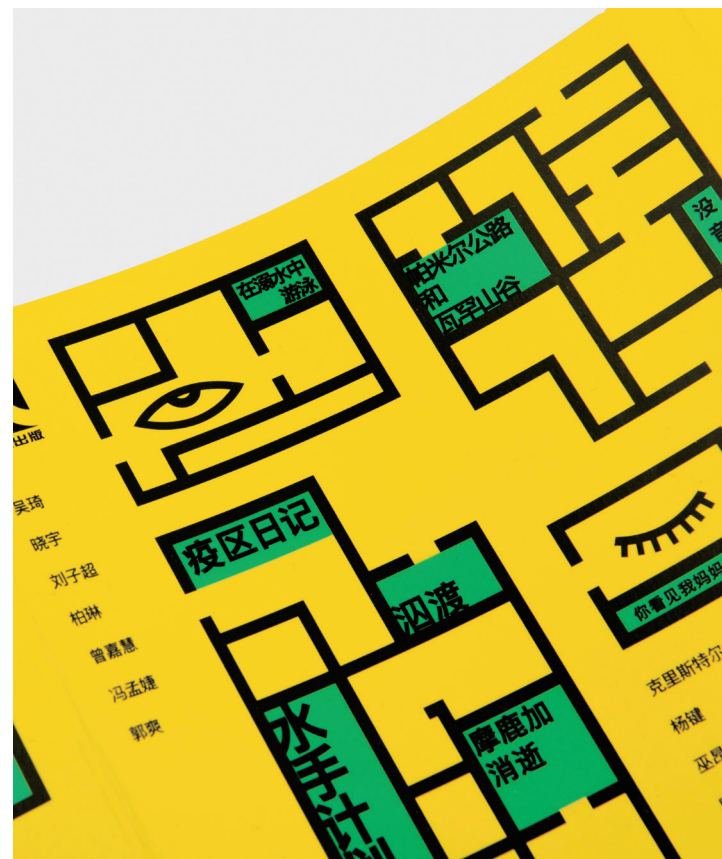
『単読 24』は、『単読』がテーマ、内容、デザインにおいて再び自己革新を試みた号です。

この号では、单向街公益基金会在が发起した文学活動「水手計画(セイラー・プロジェクト)」の成果を集中展示しています。刘子超、柏琳、曾嘉慧、冯孟婕、郭爽の5人の「水手」がパミール高原、サラエボ、日本の長崎、モルッカ諸島、東南アジアなどを訪れ、その記録と考察を報告しています。

また、晓宇の「疫区の日記」シリーズの初公開記事では、パンデミック時代の人々の物理的および精神的状況に緊密に焦点を当てています。さらに、オーストラリア大使館と提携して設立された「オーストラリア文学コラム」も更新を続け、より広い海外文学の世界へと歩みを進めています。

詩人楊鍵の母親への哀悼は、この生命の喪失の瞬間に特に心を打つものであり、作家の巫昂の知性あふれる十通の手紙は、読者に愉悦をもたらす洞察に満ちています。また、若手映画監督唐棣の映像と文字の二つの世界における体験は、彼の独特な美的視点を形作っています。

このように、誰も孤島に陥っている時代に、私たちは他者や世界、そしてより広い繋がりに向かうことを選びました。



単読 24・孤島から出る：水夫計画特集



編集長	吴琦
出版社	单读
出版年	2020年5月
ページ数	392ページ
定価	52.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532176120

MOOK 23

『単読 23』は、『単読』シリーズが海外文学に焦点を当てた第三回の試みです。著者には、イヴァン・ジャブロンカ、トマ・フラオ、パスカル・マヌキアン、エミリー・フレッシュ、ユベール・アダードの5人が含まれています。彼らの年齢層は1940年代生まれから1990年代生まれまでさまざまですが、現代フランス文学の独特な気質を一貫して示しています。それは、現代社会の状況に対する緊密な関心を持ち、それを文学的表現の範疇に取り込むことです。これらの物語は、主に家庭生活や世代間の関係から出発し、これらの破れ目から無限に広がる社会の情景を読者に見せます。さらに、エッセイ、インタビュー、詩、評論、オーストラリア文学のコラムなどのセクションもあり、読者により広い視野と多様な視点を提供します。



単読 23・崩れた家：フランス文学特集



編集長	吳琦
出版社	単読
出版年	2020年1月
ページ数	354ページ
定価	49.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787532174331

独占、オリジナル、初公開、『単読』改訂以来の新たなマイルストーン。今回は、五人の注目すべき英国の現代若手作家が初めて中国語で登場し、最前線の国際文学の視点を探求します。現代の都市生活における空虚感に直面し、都市以外の可能性を問い直すことになります。

ロンドンを含むあらゆる大都市は、もはや既定の場所を意味しません。たとえ中心と表現されるとしても、それは単に他の場所へ行くための便宜的な接続点であり、無数の方向へと延びています。実際、これらの都市自体もまた移動しています。この特集は、そのような曲がりくねった旅の一部です。私たちはロンドンを経由して英国に入り、初めて中国語に翻訳される五人の現代作家をお届けします。彼らの作品は、田野の光が散乱するように、都市の中心に迫るものから、知られざるヨーロッパの辺境を彷徨うもの、島へ飛ぶもの、自分の出生地であるアジアに戻るものまで様々です。

現在の言語と文字は、現代生活の道を掘り進める過程で、ある種の瓶頸に達しています。私たちはしばしば愛や個人の孤独、意味の不在についてしか語る事ができず、結局は同じ核心に陥ってしまいます。形式的には細枝末節の変奏に過ぎません。私たちは、イギリスの同時代の創作を通じて、都市の中心に何があるのか、また都市以外のより遠く、大きな空間がどのように可能かを再び問い直します。私たちが「都市には何もない」と言うとき、物質的な空虚さや精神的な空洞を指しているわけではありません。むしろ、いわゆる「都市意識」がもはやそのまま現成するものではなく、ジェームスのような洞察によって断定的に概括されることもなくなりました。本来、これらは近くにあると思いついでいた事柄ですが、実際には越えた事物ほど記述が難しいです。



単読 18・都市には何もない：現代イギリス文学特集



編集長	吳琦
出版社	単読
出版年	2018年9月
ページ数	408ページ
定価	48.00元
装丁	ソフトカバー
ISBN	9787516820759

単読 MOOK

**One-way Street
Journal**